

平成 30 年 5 月 25 日

総 務 大 臣 殿

三重県鈴鹿市住吉町 8947
株式会社 鈴鹿メディアパーク
代表取締役社長 加藤 正彦

番組審議機関関連について（報告）

下記の○印の事項について、放送法施行令第 8 条第 3 号イの規定により、別紙の書類を添えて提出します。

記

- 1 番組審議機関の名称変更
・変更内容の新旧対比表
- 2 審議機関の組織及び運営に関する規程の変更
・変更内容の新旧対比表
・変更後の現状
- 3 審議機関の委員の変更
様式 6-1 のとおり。
- ④ 審議機関の会議の議事録
様式 6-2 のとおり。

第 50 回 Suzuka Voice FM 番組審議会 議事録

審議会開催日時 平成 30 年 5 月 24 日 (木) 15 時 00 分～16 時 00 分

開催場所 Suzuka Voice FM 会議室

事務局：瓦谷理 (Suzuka Voice FM)

出席者：(敬称略) 山崎昭 舘隆克 服部高明 亀井秀樹 中道公子

欠席者：(敬称略) 長橋祐子 市野聖治

放送事業者側出席者：瓦谷理

委員長：山崎昭

委員総数 7 名

出席委員数：5 名

■番組内コーナー「おおきくなったらこうなった!？」について審議いただきました。

鈴鹿市内の園児たちに将来の夢を聞く当局の番組「おおきくなったらなにになりたい?!」のスピノフコーナー。

パーソナリティが、鈴鹿市内だけでなく県内外で活躍する方をゲストに迎え、どうやって輝く大人になったのか?をお聞きする対談コーナーです。

～番組内容を音源で検聴～

委員長： それでは、ご意見を伺います。

委員： おもしろく聞いていました。はじめはやわらかい内容でも、落としどころとして人生を何かに例えるというしっかりしたもので面白かったです。ただし、車を運転しながら聞いている方はそこまで深く聞き入ることができるのでしょうか。

委員： ゲストが津市の方でしたが、やはり鈴鹿の方をゲストに迎えたほうが良いのではないのでしょうか。毎週ゲストのジャンルがバラバラなのでなぜその人を呼んだのかの理由が分かるとより関心を持ってもらえると思います。また、若干ではありますがゲストとパーソナリティの馴れ馴れしさを感じました。

委員： 昼の生放送内でこのコーナーを放送する意図がよくわかりませんでした。コーナーの最初に内容や、何を伝えたいかを明確に話したほうが良いと思います。

事務局： 「おおきくなったらなにになりたい?!」のアンサーコーナーとして県内外で活躍している人をジャンルに隔てなく呼んでいます。

元々は生放送パーソナリティの持ち込みコーナーで、生放送番組終了後に

「おおきくなったらなにになりたい?!」の再放送があるのでこの時間に放送しています。

現時点ではパーソナリティの知人を中心としてゲストに呼んでいるため、それが馴れ馴れしさを感じる要因になっているのではないかと思います。

委員： BGM が単調なので集中して会話に聞き入ろうとすると耳障りに感じました。

委員： 2人で対談するコーナーとしては時間が短く、ゲストの人となりをあまり知ることができないのが少しもったいないと感じました。

ゲストが子供のころ何になりたかったかの情報があれば、元の番組の要旨や、「こうなった」のタイトルにより関連付けられるのではないのでしょうか。

事務局： 当局は地域に密着した放送局であり、究極の目標として「全ての市民が何らかの形で番組に出演したことがある」というものがあります。このコーナーはその目標を達成するにあたり、大変有効なものになると考えています。

本日の意見を参考にさせていただき、よりよい番組にしていきたいと思えます。ありがとうございました。

■事務局より

今回の審議機関のご意見を受けて、担当パーソナリティとの意見交換や内容の見直しをおこない、より良い番組になるように努めます。

鈴鹿に関係のある人物をゲストに呼んだほうがより身近に感じられるという指摘に関しては今後、地元の方を積極的にゲストとして迎えていくことを検討します。

答申内容

- ・ゲストは鈴鹿に関係する人を呼んだほうがよい。
- ・ゲストを選んだ理由が分かるとよい。
- ・コーナーの目的をはっきり伝えたほうがよい。
- ・BGM が単調で耳障りになる場合がある。
- ・もっとゲストの人となりがわかるとよい。
- ・ゲストが子供のころ何になりたかったかがわかると、元番組やコーナータイトルとの関連性が深まるのではないか。

以上